

2026年3月期

通期決算補足資料



HYOJITO

表示灯株式会社

証券コード: 7368

01 | 2026年3月期 連結損益計算書サマリー

(単位：百万円)

	【連結】 2026年3月期	【通期連結予想】 (2026.2.16公表)	達成率	(参考) 【単体】 2025年3月期
売上収益	10,832	10,800	100.3%	10,020
営業利益	1,049	1,000	104.9%	980
営業利益率	9.7%	9.3%	—	9.8%
経常利益	1,138	1,065	106.9%	1,027
当期純利益	804	745	107.9%	725

※株式会社アイセイ社の全株式を2025年10月1日付で取得したことに伴い、2026年3月期第3四半期連結会計期間より連結決算となりますが、参考として前期（2025年3月期）の単体決算数値を掲載しています。

- ▶ アド・プロモーション事業に区分される免税店検索サイト「TAXFREESHOPS.JP」が伸長
- ▶ (株)アイセイ社が25年10月に連結子会社化、同社が愛知県内において大型のサイン事業を受注
- ▶ (特別利益) 株式会社アイセイ社の株式取得に伴い、負ののれん発生益として111百万円を計上
- ▶ (特別損失) 防災ソリューション「NAVIアラート」の販路拡大が当初想定に達していないため、当該事業に掛かる減損損失・事業整理に伴う損失引当として104百万円を計上

02

事業内容（ナビタ事業ロケーション） 2026年3月末時点

合計：4,134か所



03 | 特別損失（減損損失・事業整理損）について

2023年7月

自然災害の発生に伴う地域住民の安全確保を目的として、防災ソリューション「NAVIアラート（避難案内サイン）」の展開開始

全国の自治体への営業活動

2025年3月

沖縄県石垣市に初設置（観音堂地区・白保地区）

2025年11月末

販売拡大は当初想定より進捗していない状況を踏まえ、当社の防災事業を全国の自治体に紹介するという当初目的は概ね達成されていることもあり、「NAVIアラート」を取り扱う専門部門である防災事業本部の廃止を決定



特別損失として104百万円を計上

04 | セグメント別 通期売上収益・営業利益

連結

(参考) 単体

ナビタ事業

売上収益

(今期) 7,991 百万円

ステーションナビタは緩やかな減少基調であるものの、メディカル・公共・神社/寺院ナビタは堅調に推移。

(前期) 8,074 百万円

営業利益

(今期) 1,181 百万円

(前期) 1,225 百万円

アド・プロモーション事業

売上収益

(今期) 936 百万円

免税店検索サイト“TAXFREESHOPS.JP”の取引事業者・利用者増により好調維持。

(前期) 760 百万円

営業利益

(今期) 279 百万円

(前期) 182 百万円

サイン事業

売上収益

(今期) 1,903 百万円

番号案内システムの拡大、及び2025年10月1日付で子会社化となったアイセイ社において、大型のサイン事業受注もあり赤字幅縮小。

(前期) 1,186 百万円

営業利益

(今期) $\Delta 7$ 百万円

(前期) $\Delta 133$ 百万円

05 | ナビタ事業 セグメント内の通期売上収益

今期（連結）

【参考】前期（個別）

ナビタ事業合計

売上収益 7,991 百万円

売上収益 8,074 百万円

ステーションナビタ（主に鉄道事業者）

売上収益 3,454 百万円

売上収益 3,586 百万円

シティナビタ（自治体・病院）

売上収益 4,142 百万円

売上収益 4,105 百万円

公共ナビタ（警察関連施設）

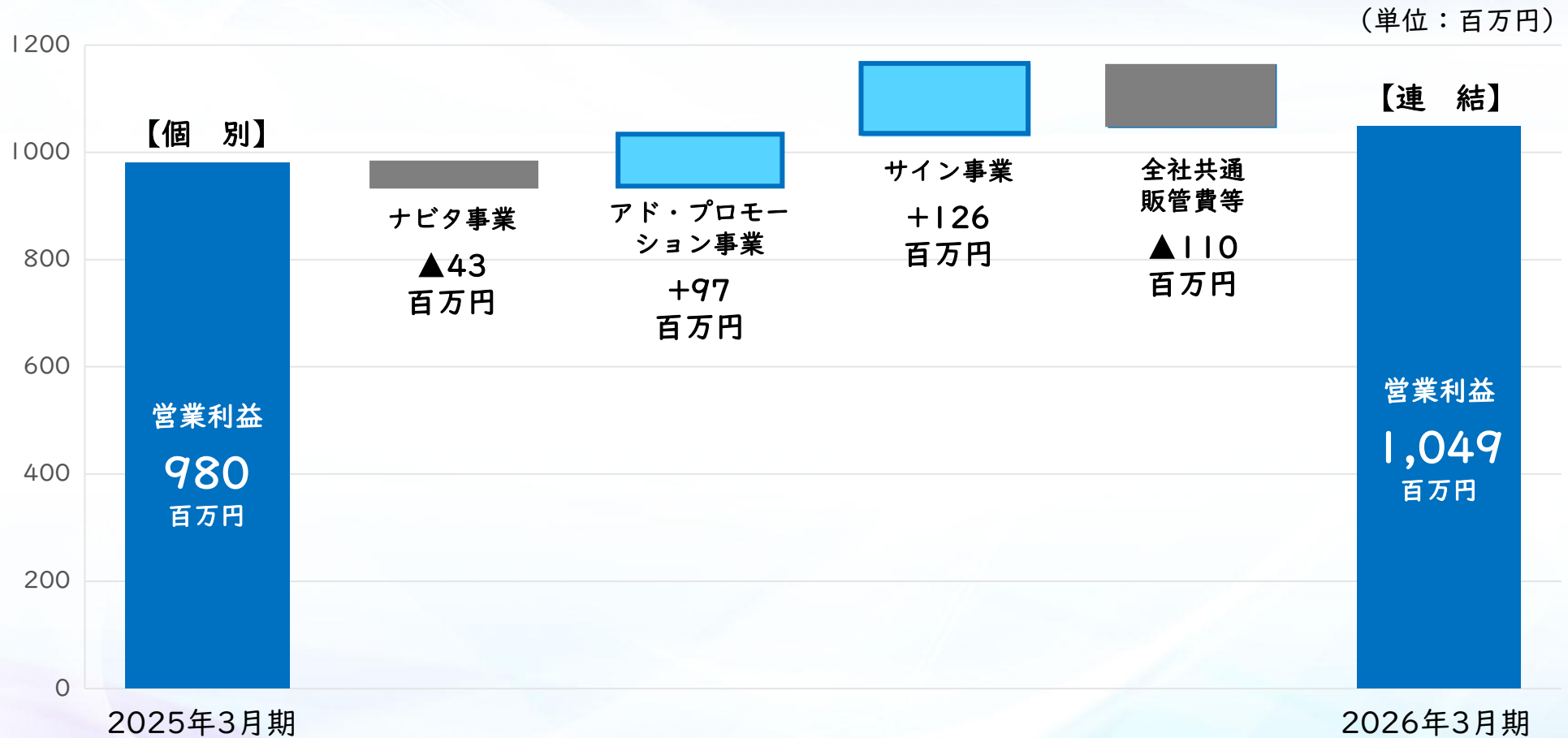
売上収益 394 百万円

売上収益 382 百万円

🔍 ステーションナビタが前年を下回るも、シティナビタ・公共ナビタが堅調に推移。

06

営業利益の増減要因分析（対前年同期比）



🔍 アド・プロモーション事業の収益増、サイン事業の収益改善により、ナビタ事業の売上減、販管費増を吸収し増益。

(単位：百万円)

	【連結】 2026年3月末	(参考) 【単体】 2025年3月末
流動資産	10,502	7,511
現金及び預金	8,530	6,113
売掛金、契約資産	1,254	687
その他	717	710
固定資産	5,289	6,950
資産合計	15,792	14,461
負債合計	7,267	6,597
純資産合計	8,524	7,864
自己資本比率	54.0%	54.4%

※当社グループは、株式会社アイセイ社の全株式を2025年10月1日付で取得したことに伴い、当第3四半期連結会計期間より連結決算となりましたが、参考として2025年3月期末の単体決算数値を掲載しています。

08 | 2027年3月期 連結業績予想

増収増益を見込むが、営業体制強化に伴う人材獲得やナビタの付加価値拡大に向けた設備投資を引き続き実施するため、利益は小幅増となる見込み。

(単位：百万円)

	2026年3月期(実)	2027年3月期(予)	対前年比
売上収益	10,832	11,300	104.3%
営業利益	1,049	1,090	103.9%
営業利益率	9.7%	9.6%	▲0.1pt
経常利益	1,138	1,175	103.2%
当期純利益	804	810	100.7%

09 | 2027年3月期 配当予想

	第2四半期末	期末	年間
2027年3月期予想	$\frac{32\text{円}}{\text{普通配当 } 32\text{円}}$	$\frac{33\text{円}}{\text{普通配当 } 32\text{円}} \\ \text{(記念配当 } 1\text{円)}$	$\frac{65\text{円}}{\text{普通配当 } 64\text{円}} \\ \text{(記念配当 } 1\text{円)}$
(ご参考) 2026年3月期	31円	31円	62円

当社は2027年2月に創立60周年を迎えることから、株主の皆様への感謝の意を表するため、2027年3月期の期末配当金において、1株当たり1円の記念配当を実施予定。

加えて、株主の皆様への利益還元を強化することを目的に、中間および期末配当金をそれぞれ1円増配し、2027年3月期の1株当たり年間配当金は、普通配当64円に創立60周年記念配当1円を加えた65円を予定。

免責事項

本資料において、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述になります。こうした記述は、作成時において当社が入手している情報に基づき判断しているため、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。実際の業績は、環境の変化などにより、こうした将来の見通しと大きく異なる可能性があることにご留意ください。

なお、資料中の数値については、端数処理の関係で内訳と合計が一致しない場合があります。